

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	アセント・パール	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ASCENT PEARL

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

テストボール：VENOM STRIKE

フレアーの幅 インチ

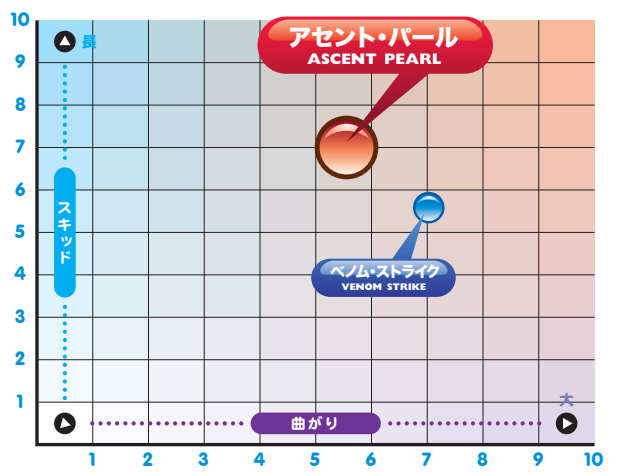
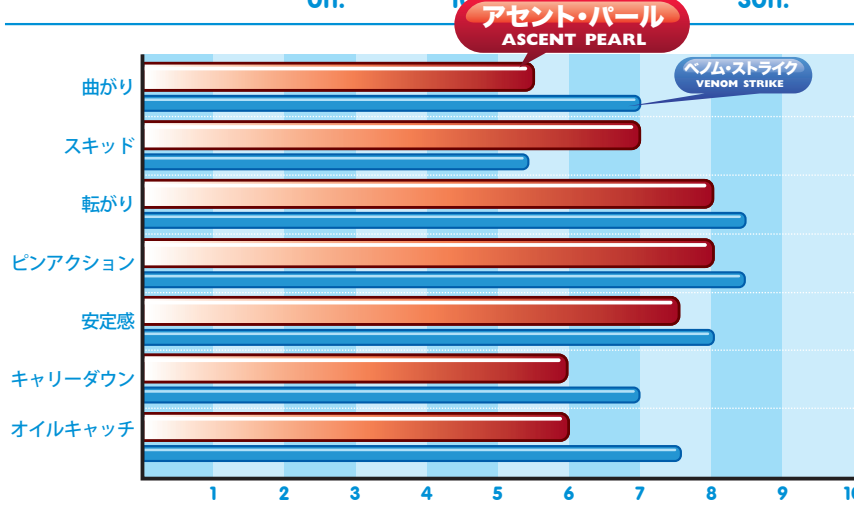
PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

Ascentと言えば、2012年6月にSolidとPearlの2種類が発売され、特にピンク/パープルのPearlがライトなコンディションで抜群の運動性能を誇り、綺麗な配色とドライなコンディションに特化したスペックで当時、すぐに在庫がなくなったのを記憶しています。また米国のジャーナル紙Bowling This Monthで”BEST ENTRY LEVEL BALL OF 2012”に選ばれるなど、配色・性能含めニーズが高かったことが伺えます。そして今回MOTIV社は前回と同じスペックで2種類の配色のAscent Pearlをリリースしてきます。私が双方を投げた感想は、MOTIVator-ZカバーストックでReconコア。数値も変わらず、配色違いの2種類のボールは前作のPearlより明らかにリアクションが違って感じました。前作のピンク/パープルのPearlはライト用の軽いスキッドとバックエンドはAngularと思えるほど角がでる性能に感じましたが、新しいこの二つのボール、特にレッド/ブラックのPearlは比較投球してもかなり曲りを得ることができませんでした。このように表現すると曲がらない=悪いボールと思われるかもしれませんが、私はあえて曲がるボールが主流である現在の性能分布の中で、かなり遅めのコンディションでも対応が可能で、「ウレタンまではいかなくてもリアクティブのボールを投げたい」という方に是非候補として考えて頂きたいと、なかなかこういうスペックのボールとは出会えない、スペシャルな性能と感じているからこそ、どのボールを投げても曲がってしまったり、スピードが不足している方、今までのリアクティブでは対応できなかったコンディションで是非この新しいAscent Pearlを使い対応してください。きっと開けたラインが貴方には見えることでしょう。

特記事項

ライトなコンディションに特化したスペシャルな性能のAscent Pearl。なかなかこういうスペックと出会える機会はありません。この機会をお見逃しなく！